

ステップ1： ヤングケアラーを理解する

(Step 1: Gaining an understanding about young carers)

ステップ2： 学校で行っているヤングケアラー支援を振り返る

(Step 2: Reviewing your school's provision for young carers)

ステップ3： 学校首脳部が確実に深く関わる

(Step 3: Securing commitment of school leaders)

ステップ4： 学校にヤングケアラー支援の実務チームを置く

(Step 4: Introducing a Young Carers School Operational Lead)

ステップ5： 学校の主要文書においてヤングケアラーについて記載する

(Step 5: Acknowledging young carers in principal school documents)

ステップ6： ヤングケアラーを見つけ、アセスメントを行い、支援するための仕組みを作る

(Step 6: Setting up systems to identify, assess and support young carers)

ステップ7： ヤングケアラーに関して、教職員の意識を高める

(Step 7: Raising the awareness of school staff about young carers)

ステップ8： ヤングケアラーに関して、生徒や保護者の意識を高める

(Step 8: Raising the awareness of pupils and families about young carers)

ステップ9： ヤングケアラーとその家族を見つけ、アセスメントを行い、支援する

(Step 9: Identifying, assessing and supporting young carers and their families)

ステップ10： 優良事例を他者と共有する

(Step 10: Sharing good practice with others )

## ステップ1： ヤングケアラーを理解する

ヤングケアラーは、学校生活において学びと遊びに影響が及ぶような独特の困難を抱えています。学校の支援がヤングケアラーのニーズを満たす上で欠かせない最初のステップは、ヤングケアラーの課題に関する知識を広めることです。

### 重要なポイント

「ステップ1：ヤングケアラーを理解する」は、以下の事柄について重要な情報を学校に提供します。

- ・ヤングケアラーとはどのような子ども・若者たちか
- ・ヤングケアラーのケア役割にはどんなタイプがあるのか
- ・学校でのヤングケアラーの推定数と、多くのヤングケアラーが潜在化する理由
- ・ケア責任が生徒の成績や心身の健康に与える影響
- ・ヤングケアラーのニーズを満たすために、全校でヤングケアラーを見つけ支援することが大切な理由
- ・ヤングケアラーに対する政府や教育水準局（Ofsted）の取り組み
- ・ヤングケアラーの権利

## ステップ2： 学校で行っているヤングケアラー支援を振り返る

何年もかけてヤングケアラーを見つけ出し、支援する仕組みを作り上げてきた学校であっても、ヤングケアラー支援を始めたばかりの学校であっても、この「段階的支援ガイド」を使う上で鍵となる次のステップは、基本事項を振り返ることです。学校で今行っているヤングケアラー支援を振り返ることで、その強みや弱み、優先課題が明確になり、次の行動の合意が取れるようになるでしょう。

### 重要なポイント

ステップ2：学校のヤングケアラー支援を振り返ることで、まずは以下の事柄に関する情報が洗い出されます。

- ・この振り返りに関わる主なメンバーは誰か
- ・学校が行っているヤングケアラー支援を振り返るのに使えるツールは何か
- ・現行のヤングケアラー支援を振り返った上で、優良事例となるためにはどうすればいいか

このステップは「学校でヤングケアラーを支援する：学校の首脳部、教員、職員のための段階的ガイド」からの引用です。このガイドのステップは、この順番で行われるようにデザインされています。

### ツール

以下のツールは学校での支援活動の振り返りのために、学校の教職員と一緒に開発しました。

- ・ステップ2、ツール1：基本事項の振り返りのテンプレート
- ・ステップ2、ツール2：学校首脳部に提案するための試案のテンプレート
- ・ステップ2、ツール3：学校のヤングケアラー支援に対するヤングケアラーの意見の収集方法
- ・ステップ2、ツール4：ヤングケアラーの出席状況、成績、経過に関するデータ収集——小学校
- ・ステップ2、ツール5：ヤングケアラーの出席状況、成績、経過に関するデータ収集——中学校
- ・ステップ2、ツール6：ヤングケアラーのニーズを満たす上での学校教職員の理解と自信のレベルの調査

### ステップ3： 学校首脳部が確実に深く関わる

学校で効果的にヤングケアラーを見つけ支援するには、ヤングケアラーとその家族が安心・安全で参加できる全校の取り組みが必要です。

そのため、学校首脳部や学校運営関係者がヤングケアラーの課題を理解し、そのニーズを満たすことに深く関わるのが極めて重要です。

#### 重要なポイント

学校首脳部が知るべきこと

- ・ヤングケアラーを見つけ支援することが、どのように学校首脳部の役割や責任と繋がるか
- ・学校で効果的にヤングケアラーを見つけ支援するために、学校首脳部や学校運営関係者が深く関わるのがなぜ不可欠なのか

学校首脳部が確実に深く関わることについてもっと知りたい方は、「ステップ3：学校首脳部が確実に深く関わる」をダウンロードして下さい。

このステップは「学校でヤングケアラーを支援する：学校の首脳部、教員、職員のための段階的ガイド」からの引用です。このガイドのステップは、この順番で行われるようにデザインされています。

#### ツール

学校首脳部と学校運営関係者が確実に深く関わるにあたって助けとなるツールは、以下のものを含みます。

- ・ステップ3 ツール1：学校首脳部のヤングケアラー支援の職務チェックリスト
- ・ステップ3 ツール2：ヤングケアラーについて学校運営関係者に案内する手紙の見本
- ・ステップ3 ツール3：学校運営部の役割と責任
- ・ステップ3 ツール4：学校運営部が効果を評価するためのチェックリスト
- ・ステップ3 ツール5：ヤングケアラーのための、対象を絞った生徒特別支援

## ステップ4： 学校にヤングケアラー支援の実務チームを置く

効果的にヤングケアラー支援を運営するには、各学校の首脳部が、学校におけるヤングケアラー支援の実務チームメンバーを明確にすることが重要です。

このメンバーは、ヤングケアラーの課題を理解しており、生徒、保護者及び教職員に対して、メンバーが誰なのかが明確にわかるようにしなければなりません。

### 重要なポイント

学校の広い役割の一環として、ヤングケアラー支援の実務チームは、以下のことをしなくてはなりません。

- ・日々の学校生活において、学校がヤングケアラーとその家族に対して行う支援を管理する。
- ・学校の中で、ヤングケアラーとその家族が連絡できる主な窓口となる。
- ・学校で教職員がヤングケアラーを見つけ支援するのをアドバイスし、支援する。
- ・保健室の先生や地域のヤングケアラーサービス、付属教育機関など、外部機関との窓口となる

ヤングケアラー支援の実務チームを置くことについてもっと知りたい方は、「ステップ4：学校にヤングケアラー支援の実務チームを置く」をダウンロードして下さい。

このステップは「学校でヤングケアラーを支援する：学校の首脳部、教員、職員のための段階的ガイド」からの引用です。このガイドのステップは、この順番で行われるようにデザインされています。

### ツール

#### ステップ4 ツール1：ヤングケアラー支援の実務チームの職務チェックリスト

このツールは、学校でヤングケアラーを効果的に見つけて支援するために、実務レベルの取り組みを設定し、学校を支援します。

それぞれの学校は、ヤングケアラー支援を導入する上で、異なる段階にいるでしょう。支援の実務チームが優先順位をつけることができるよう、3つに分類されます。

- ・基礎を作る段階
- ・基礎を強化する段階
- ・優良事例となっている段階

## ステップ5： 学校の主要文書においてヤングケアラーについて記載する

学校がその主要文書においてヤングケアラーについて記載し、生徒、保護者、教職員に積極的に周知することが重要です。それにより、ヤングケアラーとその家族への敬意が払われる校風が醸成されるでしょう。それはまた、ヤングケアラーに関わる教職員の役割と責任、そして生徒とその家族が使える支援のタイプを明確にすることにもなります。

### 重要なポイント

これらを達成するために、学校は多くの主要な取り組みを行う必要があります。

- ・ヤングケアラーに対して全校で深く関わるようにする。
- ・ヤングケアラーに対する学校の方針を作る。
- ・ヤングケアラーのニーズを反映するよう、既存の方針と文書を改定する。

### 学校はどんなガイドが使えるか？

「ステップ5 学校の主要文書においてヤングケアラーについて記載する」では、ヤングケアラーのニーズを学校の主要文書に組み込んでいく上で鍵となる方法を示しています。

### ツール

以下のツールは、ヤングケアラーのニーズを学校の主要文書に組み込むのをできるかぎり容易にすることを目的としています。

- ・ステップ5 ツール1：全校で取り組む時に含めるべき推奨事項
- ・ステップ5 ツール2：ヤングケアラーに対する学校方針のチェックリスト
- ・ステップ5 ツール3：ヤングケアラーについて言及すべき他の主要文書のチェックリスト

## ステップ6： ヤングケアラーを見つけ、アセスメントを行い、支援するための仕組みを作る

どのヤングケアラーも支援の網の目からこぼれ落ちないようにすることを確実にするために、学校はヤングケアラーの支援と発見に積極的に取り組まなければなりません。各学校でヤングケアラーとその家族を見つけ、アセスメントを行い、支援し、適切な機関につなげるために、合意された手順を設置することが求められます。

### 重要なポイント

- ・「ステップ6 ヤングケアラーを見つけ、アセスメントを行い、支援するための仕組みを作る」は、ヤングケアラーのニーズを効果的に満たすために学校が実施できる、様々な仕組みに関する重要な情報を記載しています。
- ・次の3つに分類することで、学校が取るべき次の行動の優先順位が、非常につけやすくなります。
- ・基礎を作る段階
- ・基礎を強化する段階
- ・優良事例となっている段階

このステップは「学校でヤングケアラーを支援する：学校の首脳部、教員、職員のための段階的ガイド」からの引用です。このガイドのステップは、この順番で行われるようにデザインされています。

### ツール

- ・ステップ6 ツール1：ヤングケアラーが必要とするかもしれない支援のチェックリスト
- ・ステップ6 ツール2：ヤングケアラーのピアサポートグループの運営
- ・ステップ6 ツール3：生徒が記入して回収箱に入れるためのアンケート用紙の見本
- ・ステップ6 ツール4：ヤングケアラーフォーラムの開催方法
- ・ステップ6 ツール5：ヤングケアラーとその家族を支援するための、保健室の先生との連携
- ・ステップ6 ツール6：ヤングケアラーサービスとの連携
- ・ステップ6 ツール7：学校とヤングケアラーサービスが効果的に連携するためのチェックリスト
- ・ステップ6 ツール8：ヤングケアラーサービスとの連携合意書の見本
- ・ステップ6 ツール9：ヤングケアラーが「16歳を過ぎた後」に参加することを支援
- ・ステップ6 ツール10：ヤングケアラーの大人への移行期を支援
- ・ステップ6 ツール11：ヤングケアラーの家族が必要とするかもしれない支援のチェックリスト

## ステップ7： ヤングケアラーに関して、教職員の意識を高める

学校でヤングケアラーのニーズを満たすためには、すべての教職員が、ヤングケアラーが学校生活で学びと遊びを保証されるための支援が必要な理由を理解すること、又、ヤングケアラーの出席や成績や心身の健康を向上させるために教職員が学校内での役割としてできるシンプルな事柄を理解することが重要です。

### 重要なポイント

- ・ヤングケアラーの課題について教職員が理解するということは、教職員の既存の役割に何か追加されるわけではありません。むしろ、ヤングケアラーを見つけて支援する方法を意識することで、教職員は学校内での既存の役割を果たす上でより良い備えができ、学校は更に効果的にヤングケアラーを見つけて支援できるようになるでしょう。
- ・ヤングケアラーを早期発見することで、彼らが過度又は不適切なケア役割を担うのを防ぐことができます。どんな子どもや若者も、ケア役割を担うことで、自らの学びや心身の健康、未来の可能性に影響が出てはいけません。

### ツール

教職員の意識を高めることを目的とした、ヤングケアラー支援の実務チームのためのツールは以下の通りです。

- ステップ7 ツール1：ヤングケアラーの疑いがある生徒用のチェックリスト
- ステップ7 ツール2：教職員用の掲示板資料の見本
- ステップ7 ツール3：教職員がヤングケアラーを支援する方法
- ステップ7 ツール4：教職員研修ファシリテーター用のガイド
- ステップ7 ツール5：教職員研修で使用するためのパワーポイント資料
- ステップ7 ツール6：教職員研修で使用するための配布資料
- ステップ7 ツール7：教職員研修用の評価表



## ステップ8： ヤングケアラーに関して、生徒や保護者の意識を高める

### 重要なポイント

多くのヤングケアラーが潜在化する状況に対策を講じるために、学校は生徒とその保護者の意識を積極的に高める必要があります。

- ・「ヤングケアラーとはどんな子ども・若者か」に関して意識を高める。
- ・障害、精神及び身体疾患、アルコール及び薬物依存に対する偏見を払拭することに焦点を当てる。

これらの意識を高めることは、生徒とその家族がヤングケアラーであるという自覚を持ち、障害や病気、アルコールや薬物依存に対する差別・偏見の払拭及びいじめ防止にも役立ちます。

このステップは「学校でヤングケアラーを支援する：学校の首脳部、教員、職員のための段階的ガイド」からの引用です。このガイドのステップは、この順番で行われるようにデザインされています。

### ツール

ヤングケアラー支援の実務チームを助けるために利用できるツールは以下の通りです。

- ステップ8 ツール1：小学校向けの掲示板資料の見本
- ステップ8 ツール2：中学校向けの掲示板資料の見本
- ステップ8 ツール3：ヤングケアラー説明会の提案
- ステップ8 ツール4：授業の提案
- ステップ8 ツール4a：授業の提案の続き
- ステップ8 ツール5：親又は保護者への手紙の見本
- ステップ8 ツール6：ニュースレターの記事の見本

## ステップ9： ヤングケアラーとその家族を見つけ、アセスメントを行い、支援する

「学校でヤングケアラーを支援する：学校的首脳部、教員、職員のための段階的ガイド」から引用のこのステップは学校が、ヤングケアラーである(又は、ヤングケアラーである可能性のある)生徒を見つけた際に取りべき主な行動について書いています。

### 重要なポイント

学校がヤングケアラーを見つけた際に、ヤングケアラー支援の実務チームは、下記の事柄のための行動を確実に取らなければなりません。

- ・ヤングケアラーとその家族のニーズを把握する
- ・情報共有の同意を得る
- ・支援を計画及び実施するために、教職員及びその他の専門家が関われるようにする
- ・生徒向けの計画/支援手順を作成し、同意を得る
- ・支援を提供する
- ・ヤングケアラーとその家族への影響をモニターし振り返る

「ステップ9：ヤングケアラーとその家族を見付け、アセスメントを行い、支援する」では、ヤングケアラー支援の基本レベルを提供するために、学校が取るべき行動を分類し、「基礎を作る段階」から「優良事例となっている段階」へと移行するのを助けます。

このステップは「学校でヤングケアラーを支援する：学校的首脳部、教員、職員のための段階的ガイド」からの引用です。このガイドのステップは、この順番で行われるようにデザインされています。

### ツール

「ステップ9：ヤングケアラーとその家族を見つけ、アセスメントを行い、支援する」に記載の行動を学校が取るために助けとなるツールは、以下のものを含みます。

- ステップ9 ツール1：情報共有の同意書の見本
- ステップ9 ツール2：ケア役割に対する多角的なアセスメント
- ステップ9 ツール3：ケア役割による良い影響と悪い影響の把握
- ステップ9 ツール4：心身の健康に関するアンケート
- ステップ9 ツール5：教職員の観察用チェックリスト

## ステップ10： 優良事例を他者と共有する

### 重要なポイント

・この段階的ガイドのステップ1～9を採用した学校は、優良事例や教訓を、同系列の学校又はマルチアカデミートラストを含む付属教育機関と共有することが重要です。

・これにより、他の学校に通うヤングケアラーの状況が確実に改善されるでしょう。また、ヤングケアラーである生徒が転入・入学する前に、受け入れる学校側がその生徒のケア役割を認識できる可能性が高くなります。これにより、学校が支援と早期介入を実施しやすくなります。

・ヤングケアラーを早期発見することで、彼らが過度又は不適切なケア役割を担うのを防ぐことができます。優良事例を共有することによって、どんな子ども・若者でも、ケア役割を担うことで、自らの学びや心身の健康、未来の可能性に影響が出ないように保証されなければなりません。

・このステップは「学校でヤングケアラーを支援する：学校的首脳部、教員、職員のための段階的ガイド」からの引用です。このガイドのステップは、この順番で行われるようにデザインされています。

学校は以下のことを通して、優良事例を共有する機会を模索すべきです。

・生徒の転入・入学手続き、合同研修、文書での交流、その他の情報共有の場を通して、同系列の学校やマルチアカデミートラストを含む、付属教育機関に対して学んだことを発信する。

・「学校でヤングケアラーを支援する」プログラムが主催する地域ネットワークに参加する。地域ネットワークは、様々な学校、ヤングケアラー支援サービス、その他の機関が集まる場を設定し、専門知識の共有や研修への参加ができるようにする。皆がこれらのネットワークを最大限に活用できるように、オンライン及び対面での機会を設定する。

### ツール

ステップ10 ツール1：優良事例の共有ーケーススタディによる事例